

社会福祉法人ソシネット定款

第1章 総則

(目的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第二種社会福祉事業

保育所の経営

(名称)

第2条 この法人は、社会福祉法人ソシネットという。

(経営の原則等)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、子育て世帯及び経済的に困窮する者を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を大分県別府市青山町3058番地15に置く。

第2章 評議員

(評議員の定数)

第5条 この法人に評議員7名を置く。

(評議員の選任及び解任)

第6条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、事務局員1名及び外部委員1名の合計3名で構成する。

3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。

4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として

適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。

- 5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員が出席し、かつ、外部委員が賛成することを要する。

(評議員の資格)

第7条 社会福祉法第40条第4項及び第5項を遵守するとともに、この法人の評議員のうちには、評議員のいずれか一人及びその親族その他特殊の関係がある者（租税特別措置法施行令第25条の17第6項第1号に規定するものをいう。以下同じ。）の合計数が、評議員総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

(評議員の任期)

第8条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとすることができる。

- 3 評議員は、第5条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第9条 評議員に対して、1人当たりの各年度の総額が100,000円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬等として支給することができる。

第3章 評議員会

(構成)

第10条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第11条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分

- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) 事業計画及び収支予算
- (10) 臨機の措置（予算外の新たな義務の負担及び権利の放棄）
- (11) 解散
- (12) その他評議員会で決議するものとして法令及びこの定款で定められた事項
（開催）

第12条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後3カ月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

（招集）

第13条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

（決議）

第14条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 定款の変更
- (3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第16条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

（議事録）

第15条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名は、前項の議事録に記名押印する。

第4章 役員及び職員

(役員の数)

第16条 この法人には、次の役員を置く。

- (1) 理事 6名
- (2) 監事 2名

2 理事のうち1名を理事長とする。

(役員を選任)

第17条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(役員資格)

第18条 社会福祉法第44条第6項を遵守するとともに、この法人の理事のうちには、理事のいずれか一人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数(現在数)の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

2 社会福祉法第44条第7項を遵守するとともに、この法人の監事には、この法人の理事(その親族その他特殊の関係がある者を含む。)及び評議員(その親族その他特殊の関係がある者を含む。)並びに、この法人の職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係がある者であってはならない。

(理事の職務及び権限)

第19条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。

3 理事長は、毎会計年度に4カ月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第20条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第21条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時

までとすることができる。

- 3 理事又は監事は、第16条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第22条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第23条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬等として支給することができる。

(職員)

第24条 この法人に、職員を置く。

- 2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。
- 3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第5章 理事会

(構成)

第25条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第26条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長の選定及び解職

(招集)

第27条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第28条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができないものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、理事会の決議があったものとみなす。

（議事録）

第29条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 当該理事会に出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第6章 資産及び会計

（資産の区分）

第30条 この法人の資産は、これを分けて基本財産とその他財産の2種とする。

- 2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

- (1) 大分県別府市青山町3058番地15所在の鉄骨造かわら・合金メッキ鋼板ぶき2階建 山の手保育園園舎1棟（1階356.61平方メートル、2階266.73平方メートル）

- (2) 預金10,000,000円

- 3 その他財産は、基本財産以外の財産とする。

- 4 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続をとらなければならない。

（基本財産の処分）

第31条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得て、別府市長の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、別府市長の承認は必要としない。

- (1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合

- (2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合（協調融資に係る担保に限る。）

（資産の管理）

第32条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、

又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(事業計画及び収支予算)

第33条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事総数(現在数)の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、事務所に当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第34条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)

(5) 貸借対照表及び収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)の附属明細書

(6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事並びに評議員の名簿

(3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第35条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第36条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第37条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の

放棄をしようとするときは、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。

第7章 解散

（解散）

第38条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

（残余財産の帰属）

第39条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

第8章 定款の変更

（定款の変更）

第40条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、別府市長の認可（社会福祉法第45条の36第2項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を別府市長に届け出なければならない。

第9章 公告の方法その他

（公告の方法）

第41条 この法人の公告は、社会福祉法人ソシネットの掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

（施行細則）

第42条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長 平 井 理 恵
理 事 平 井 一 弘
理 事 宮 本 武 司
理 事 山 内 千 代

理事 向井 道夫
理事 工藤 美智子
理事 幸野 千恵子
監事 加納 政徳
監事 蔵前 達郎

この定款は、平成16年3月24日から施行する。

附則（別社福第4-0810号）

変更後の定款は、平成25年8月5日から施行する。

附則（別社福第4-0627号）

変更後の定款は、平成26年6月26日から施行する。

附則（別社福第4-2377号）

（施行期日）

1 この定款は、平成29年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 第5条で定める評議員の人数は、平成29年4月1日から平成32年3月31日までの間は「4名以上」とする。

附則（別高福第1861号）

変更後の定款は、令和5年4月1日から施行する。

社会福祉法人ソシネット役員等報酬及び費用弁償規程

(目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人ソシネット（以下「当法人」という。）定款第9条及び第23条並びに評議員選任・解任委員会運営細則第7条の規定に基づき、法人の役員等の報酬等及び費用弁償に関する事項を定める。

(役員等)

第2条 この規程において、役員等とは、当法人の理事、監事、評議員及び評議員選任・解任委員をいう。

(報酬等の総額の範囲)

第3条 定款第23条の規定に基づき、当法人が理事及び監事に対し支給することができる評議員会で別に定める報酬等の総額の範囲は、次に掲げる額とする。

- (1) 理事 1人当たりの各年度の総額が100,000円を超えない範囲
- (2) 監事 1人当たりの各年度の総額が100,000円を超えない範囲

(報酬等)

第4条 役員等に対し、次に掲げる場合に日額3,000円に源泉徴収税額を加えた額を支給する。ただし、役員等が当法人の職員を兼ね、かつ、職員給与を支給されているときは、報酬等は支給しない。

- (1) 当法人の理事会、評議員会又は評議員選任・解任委員会に出席した場合
- (2) 社会福祉法（昭和26年法律第45号）第45条の28第1項に規定する監事の監査を実施した場合
- (3) 次に掲げる質問又は検査に出席した場合
 - ア 社会福祉法第56条第1項に規定する質問又は検査
 - イ 児童福祉法（昭和22年法律第64号）第46条に規定する質問又は検査
 - ウ 子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）第14条又は第38条に規定する質問又は検査
- (4) 前各号に掲げるもののほか、当法人の行事に出席し、又は当法人の業務のために旅行した場合

(費用弁償)

第5条 役員等が前条の職務を行うために要する費用を弁償する。ただし、業務の主催者等から費用弁償相当額が支払われた場合は、これを弁償しない。

2 前項の費用弁償額は、職員の旅費規程に準じて算定された交通費及び宿泊料とする。

(支給方法)

第6条 報酬等及び費用弁償は、業務の都度、現金により支給する。ただし、連続して旅行した場合等は、月単位で支払うことができる。

(公表)

第7条 当法人は、この規程をもって、社会福祉法第59条の2第1項第2号に規定する報酬等の支給の基準として公表する。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、理事会及び評議員会の承認を要する。

(補則)

第9条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事会の承認を得て、理事長が別に定める。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。

社会福祉法人ソシネット役員名簿

【理事 定数6名】

【理事 現員6名】

令和5年6月現在

No	役職名	氏名	住所	職業等	特殊関係	役員資格	就任月日	任期
						等		
1	理事長	安東信幸	非公開	非公開	有	学識・福祉 施設長等・その他	R5.6.12	令和7年6月の定時 評議員会終結の時まで
2	理事	山岸治男	非公開	非公開	無	学識・福祉 施設長等・その他	R5.6.12	令和7年6月の定時 評議員会終結の時まで
3	理事	山名義弘	非公開	非公開	無	学識・福祉 施設長等・その他	R5.6.12	令和7年6月の定時 評議員会終結の時まで
4	理事	木元洋一郎	非公開	非公開	無	学識・福祉 施設長等・その他	R5.6.12	令和7年6月の定時 評議員会終結の時まで
5	理事	安東めぐみ	非公開	非公開	有	学識・福祉 施設長等・その他	R5.6.12	令和7年6月の定時 評議員会終結の時まで
6	理事	瀬口博子	非公開	非公開	無	学識・福祉 施設長等・その他	R5.6.12	令和7年6月の定時 評議員会終結の時まで

【監事 定数2名】

【監事 現員2名】

1	監事	吉野隆一郎	非公開	非公開	無	学識・財務 施設長等・その他	R5.6.12	令和7年6月の定時 評議員会終結の時まで
2	監事	村橋公子	非公開	非公開	無	学識・財務 施設長等・その他	R5.6.12	令和7年6月の定時 評議員会終結の時まで

社会福祉法人ソシネット評議員会名簿

【評議員 定数7名】

【評議員 現員7名】

令和5年6月現在

No	役職名	氏 名	住 所	職業等	特殊関係	役員資格 等	就任月日	任期
1	評議員	佐藤忠三	非公開	非公開	無	学識<福祉> 施設長等・その他	R3.6.9	令和7年6月の定時 評議員会終結の時まで
2	評議員	川本澄子	非公開	非公開	無	<学識>福祉 施設長等・その他	R3.6.9	令和7年6月の定時 評議員会終結の時まで
3	評議員	田北直樹	非公開	非公開	無	学識<福祉> 施設長等・その他	R3.6.9	令和7年6月の定時 評議員会終結の時まで
4	評議員	彌田俊文	非公開	非公開	無	学識<福祉> 施設長等・その他	R3.6.9	令和7年6月の定時 評議員会終結の時まで
5	評議員	嶋幸一	非公開	非公開	無	学識・福祉 施設長等・その他	R3.6.9	令和7年6月の定時 評議員会終結の時まで
6	評議員	池田貴士	非公開	非公開	無	学識<福祉> 施設長等・その他	R3.6.9	令和7年6月の定時 評議員会終結の時まで
7	評議員	阿部正昭	非公開	非公開	無	学識・福祉 施設長等<その他>	R3.6.9	令和7年6月の定時 評議員会終結の時まで